

氏名(本籍) 林 鋼兵(東京都)
学位の種類 博士(歯学)
学位記番号 甲 第312号
学位授与日 2015年3月23日
学位授与の要件 博士の学位論文提出者(学位規程第11条第1項該当者)
学位論文題目 慢性歯周炎患者に対する抗菌光線力学療法の有効性に関する臨床的研究-
臨床パラメータおよび細菌検査による評価-
論文審査委員 (主査)教授 申 基喆
(副査)教授 大森 喜弘
(副査)教授 中畷 裕
(副査)教授 藤澤 政紀

論文内容の要旨

本研究の目的は中等度慢性歯周炎患者に対しSRPとa-PDTの併用療法の有効性を、臨床的パラメータおよび歯肉溝滲出液検査、細菌検査を用いて検討することとした。慢性歯周炎患者14名を対象に、上下顎前歯・小臼歯を、SRPのみ処置(Cont群)、SRP後MBのみ注入(MB群)、SRP後レーザー照射(Laser群)、SRP後MBを注入し、レーザー照射(a-PDT群)の4群に設定した。評価は、各処置前、処置後4、8、および12週に歯周病学的パラメータの測定および歯肉溝滲出液検査を実施した。また、処置前及び処置後4週に歯周病原細菌検査を実施した。その結果、プロービング時の出血(BOP)および歯肉溝滲出液(GCF)量において、a-PDT群は、Cont群と比較し、処置後8、12週で有意な減少を認めた。細菌検査では、術前後の減少率において、a-PDT群はCont群と比較し有意な減少を認めた。以上の結果から、慢性歯周炎に対するSRPとa-PDT単回使用の併用療法は、SRP単独による治療と比較し、BOP、GCF量を有意に減少させ、歯周ポケット内の歯周病原細菌比率を減少させたことから、歯周疾患活動性を軽減させ、歯周病原細菌に対し、殺菌効果があることが示唆された。

論文審査および試験結果の要旨

本論文は、慢性歯周炎患者に対する、SRPとa-PDT単回の併用療法の有効性を、臨床的パラメータ、および歯肉溝滲出液検査、細菌検査を歯周治療評価の指標にして明らかにしたものである。本論文における統計学的検討の結果、SRPとa-PDT単回の併用療法は歯周治療として有効であることが示唆され、臨床上有意義な知見を提供しているものと判断できた。

明海大学大学院歯学研究科歯学専攻 林 鋼兵に対する最終試験は、2014年11月6日、主査 申 基喆教授、副査 大森 喜弘教授、中畷 裕教授、藤澤 政紀教授の4名により行われた。論文審査ならびに専攻学術に関し、口頭試問をもって実施し、合格と認めた。また、林 鋼兵の語学試験は、大学院入学試験の外国語試験の結果をもって合格とした。よって申請者 林 鋼兵の本論文は、博士(歯学)の学位論文に値するものと判断した。